



冬のあいだの子どもたちの体力づくりと交流を目的に2月11日(水)、第19回中泊町子どもスノーフェスティバルが宮野沢スキー場で行われました。

今年度から中泊町スポーツ協会スキー部が主体となって実施され、スキー回転競技、そり競技、雪上フラッグ、人間ばんばレースの4種目に出場し、1位を目指して競い合いました。

最後に行われた人間ばんばレースは3人1組となり、そりに乗った仲間1人を同じチームの2人が引っ張ってゴールするまでのタイムを競います。

中盤の難所である雪の小山を、勢いよくそりでかけあがる姿は本家に負けない迫力でした！

厳冬の青森を中泊町が盛り上げる

～イガ米きてけフェアを今年も開催～

青森県観光物産館「アスパム」で毎年恒例の「イガ米きてけフェア」を開催しました。2月14日・15日の2日間で行われたフェアには多くの来場者が詰めかけ、新鮮食材が当たる野菜輪投げや本物のイカと交換できるイカリん釣りゲームに熱中しました。

人気を博したのが、11種類ものどんぶりメニューが並ぶ「なかどまりどんぶりフェア」。

まぐろ丼、メバル漬丼などの海鮮丼が多く並ぶなか、みそ豚丼やインドのスパイスを使った炊き込みご飯「ピリヤニ」などもあり、すべての商品が500円で買えるとあって来場者はお友達やおなかのすき具合と相談しながら色々な種類の丼を買い求めました。

初日は濱舘町長も参加し、町内企業の出店ブースをマイク片手にPR。「この商品が絶品」「この大きさの野菜でこのお値段はお買い得」などの言葉に興味をもった来場者が、大きな列をなしました。

